

# 社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

## 平成22年度第二回通常総会議事録

日 時 平成23年2月19日（土）13時30分～15時00分  
場 所 東京海員会館 会議室  
東京都中央区晴海3-7-1

### 1. 定 足 数 の 確 認

出席会員31名、委任状28名、合計59名。従って正会員現在数75名の2分の1を超えて第28条（総会成立）の定足数に達しており、本総会の成立を確認した。

### 2. 開 会 の 挨 拶 石原 伸晃 会長

石原会長 挨 拶

全国のクラブの代表者、指導者の皆さん、お忙しいところ多数お集まり頂き有難うございます。日頃から子供たちの指導にご尽力頂き感謝申し上げますとともに敬意を表します。

政局が流動的で大変多忙ですが、大会に出席して元気な子供たちの姿を見るのが楽しみです。出来るだけ参加するよう努力いたします。

本日も途中退席させて頂きたく、議事の進行は佐藤会長代行にお願いいたしますので活発なご討議をお願いします。

### 3. 来 賓 の 祝 辞

(1) (財)日本セーリング連盟、前田専務理事にご挨拶をお願いしたが、(財)日本セーリング連盟の理事会、評議員会と重なり、時間的に出席が無理につき皆様に宜しくとの連絡があった旨司会から説明あった。

(2) (財) B&G 財団、広渡専務理事にご挨拶をお願いしたが、急の出張が入り出席出来なくなったので宜しくとの連絡があった旨司会から説明あった。

### 4. 議 長 選 出

定款第26条により会長が議長となるどころ公務の為途中退席するため、定款第14条の2により、佐藤精知夫副会長が議長に選出された。

### 5. 議 事 録 署 名 人 選 出

定款第30条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名が議長より推薦され全会一致で選出された。

山川 満清 氏（熊本ジュニアヨットクラブ代表）

芦垣 明彦 氏（かながわジュニアヨット倶楽部ワンダラーズ代表）

## 6. 報告事項（その1）

（平成23年度事業計画書(案)、同収支予算書(案)の説明を理解しやすくする為、報告事項である平成22年度中間事業報告書及び同中間財務諸表を先に説明報告する事とした。）

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成22年9月末までの平成22年度中間事業報告書及び中間財務諸表について説明がなされた。

平成22年度の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2010は前年に続き東京都若洲ヨット訓練所で開催し、第30回日本少年少女オープンヨット大会は全国大会として、ジュニアヨット発祥の江の島ヨットハーバーで開催しました。

三起商行(株)からは引き続き東京都若洲ヨット訓練所でのジュニアヨット国際親善レガッタにご支援頂き、第20回の記念大会として一層充実した大会として、例年の9月初め開催の日程を中旬に変更してミキハウスカップ2010を開催しました。

自然環境保護の社会的動きの中で、6月第2週に新しい大会として、「ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会2010（ラムサール条約記念全国大会）」を鳥取県、島根県の県民運動となっている中海・宍道湖一斉清掃活動の時期に合わせて、鳥取県米子市で開催しました。

中間財務諸表の中で、一般会計はほぼ予算通りで推移しているものの、年会費未納の正会員が多数いますが、10月以降に大部分が入金していますので、今後はもう少し早めに入金して頂くようお願いしたいと考えます。

新しい制度としての登録クラブ負担金もジュニアセーラー名簿の提出と入金状況が進んでいないので、本日開催予定のクラブ代表者意見交換会等でもご理解を得ながらお願いして行きたいと考えます。

特別会計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳについては全て大会が終了しており、関係先への報告も済んでいます。特別会計Ⅳ（ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会）は初めての新しい大会であることと開催場所と時期の関係から参加者が少なかったことが主たる要因で大幅な赤字決算となりました。次年度以降は地方自治体からの一層のご支援を頂くべく活動を強化したいと考えます。

## 7. 議案審議

### 1) 第一号議案 平成23年度事業計画書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成23年度事業計画書(案)の説明を行った。

5月3日～5日のゴールデンウィークには、昨年に続いて江の島ヨットハーバーにおいて「第31回日本少年少女オープンヨット大会」を全国大会として開催します。

昨年の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会のクラブ対抗レース優勝クラブへの特別賞として、クラブの選手の海外ヨット研修派遣費用援助を実施しましたが、今年3月末に優勝クラブ江の島ヨットクラブジュニアの選手3名がニュージーランドのオークランドに行く予定です。

この春のオープン大会でも特別賞を設定して、関東水域OP連絡会が毎年3月に実施して

いる「タイクニック」に参加する費用と資格を授与する企画を考えており、現在レース公示とともに詳細を検討しています。

6月第2週（11日～12日）に、「ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会2011（ラムサール条約記念全国大会）」を島根県松江市本庄町の中海で開催します。

夏の「国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011」は、8月5日～7日、愛知県蒲郡市の海陽ヨットハーバーで開催します。クラブ対抗レース優勝クラブへの特別賞は今年も実施する予定ですが、優勝クラブだけにするかももう少し幅を広げるか詳細は今後検討することとしています。

9月18日（日）「第21回ジュニアヨット国際親善レガッタ（ミキハウスカップ2011）」を東京都若洲ヨット訓練所で開催します。

各クラブの運営の問題、クラブメンバーの減少、当連盟の正会員、登録クラブの減少や各大会への参加者の減少等のいろいろな問題、解決案等について討議したく、本日の総会後にクラブ代表者意見交換会を予定しているので、忌憚ないご意見を頂いて、今後の連盟の活動に反映させて行きたいと考えています。

その後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

## 2) 第二号議案 平成23年度収支予算書(案)

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成23年度収支予算書(案)について説明を行った。一般会計、特別会計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのそれぞれにつき説明した。

一般会計の収入予想として、正会員、賛助会員の増に務めることと、機関誌ユースセーリングや大会プログラムへの広告の増に務めること、寄付金のお願い等が重要であることを説明し、支出では全般的に経費節減に一層の努力をし、事務局業務委託費も引き下げをお願いした。又、ポートショーの出展も継続しないこととし、ユースセーリング発行費用も節減する等の諸努力をすることとしました。

特別会計もそれぞれ例年より若干縮小規模で立案しています。

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

## 3) 第三号議案 「理事18名・監事2名選任」(案)

伊藤専務理事より配布資料に沿って議案提案趣旨について経緯を説明した。

新しい理事を増やしたいと思い、委員で活動して頂いている「熊川博氏」「岸野寛氏」のお二人を理事会として理事に推薦しました。

議長より議場に質問、異議なきかを諮ったところ、理事に選任された熊川博氏が発言を求めたので議長が指名したところ、熊川氏より、工作上ならびに一身上の都合で理事就任を受諾出来かねるとの理事就任辞退の申し出であった。

議場より、選任されたが諸事情で辞退された前例もあるので、本人の意向を尊重して理事就任辞退の申し出でを了承しても良いのではないかとの発言あり、議長より議場に了解を求めたところ全員異議なく承認したので、熊川氏を除く理事候補者17名と監事候補者2名の選任に関し第三号議案として全会一致で承認可決された。

ここで議長から、一旦総会を中断し新たに選任された理事による臨時理事会の開催を求める提案を議場に諮ったところ全会一致で可決されたので、直ちに別室にて臨時理事会を開催した。

臨時理事会は、理事17名（出席12名、欠席5名、理事現在数の3分の2以上の出席により成立）の互選により、吉村茂理事が議長となり、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について諮ったところ、候補については議長の推薦に一任するとの動議が出され全員が賛成したので、吉村理事より、「会長に石原伸晃氏、副会長に佐藤精知夫氏、専務理事に伊藤雅宣氏、常務理事に安井清氏と小野一臣氏」を推薦する案が説明され、全員の賛成により可決決定された。

臨時理事会吉村議長より、以上により臨時理事会を閉会として総会を再開する旨宣告したので、理事は総会会議場に戻った。

佐藤精知夫副会長が再び総会議長席に着き総会の再開を宣告した。

議長より、臨時理事会議長の吉村理事に対し臨時理事会の結果について報告を求め、吉村理事より、臨時理事会において理事の互選により、会長に石原伸晃、副会長に佐藤精知夫、専務理事に伊藤雅宣、常務理事に安井清、小野一臣が選任された旨報告された。

議長は、臨時理事会議長の報告に基づき、会長に石原伸晃、副会長に佐藤精知夫、専務理事に伊藤雅宣、常務理事に安井清、小野一臣が選任されたことの承認を議場に諮り、全会一致で可決決定された。

石原新会長が公務の為に先に退出しているため、佐藤新副会長より、これから2年間は理事、監事と共に頑張っていくので皆様のご協力をお願いする旨の所信表明があった。

議長は、以上により平成22年度第二回通常総会の議案の審議は全て終了したので閉会を宣した。

## 8. 報告事項（その2）

1) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2010の(東京都若洲)競技会実施報告について  
東京都ヨット連盟の方は若洲でレース運営がある為本日は出席出来ないとのことで、小野常務理事から競技会は海外チーム3カ国を招待し、東京都からも(財)東京都スポーツ文化事業団を通じ特別協賛を頂き、無事予定通り開催出来た旨説明した。

2) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011(愛知県蒲郡)について

愛知県ヨット連盟理事岡田 彰氏、同理事兼なごやジュニアヨットクラブ水谷斗男留氏よ

り、会場予定地の海陽ヨットハーバー、宿泊ホテル等準備状況の説明が行われた。

小野常務理事より「スポーツ振興基金助成」の申請をしたが、認められない旨連絡があり、直ちに「くじ助成金」の申請をすれば認められる可能性があるとのことで、2月21日(月)に申請する予定と報告された。収支予算書(案)としては収入面が苦しいので、協賛企業をお願い、プログラム広告企業の募集に努力する事が必要と強調された。

3) 第31回日本少年少女オープンヨット大会(江の島、全国大会)について

江の島ヨットクラブの熊川博氏より、ほぼ昨年と同じ要領で、初日は昨年好評だったセーリングピクニックを実施するがもっと楽しいものにすべく詳細検討中で、A、B海面も昨年と同じであること等その他の準備状況の説明がなされた。

4) ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会2011(ラムサール条約記念全国大会)について(島根県松江市)

内藤武夫理事より、5年前から実施している島根県、鳥取県の中海・宍道湖一斉清掃活動は昨年7、500人以上の参加者があり更に大きくなると思うので、ジュニアヨットクラブの仲間も沢山参加して海を大事にすることを教えたいと思うので、出来るだけ参加して頂きたいと、準備状況について説明した。

5) 第21回ジュニアヨット国際親善レガッタ(ミキハウスカップ2011)について

森田委員より、外国人学校は日本の祝日は登校日だということから、今年からは大会を日曜日に開催することとし、9月18日(日)、一層国際親善が図れるよう外国人選手の参加者の増に努力する。昨年参加料も下げて募集しているので沢山参加して欲しいと説明あった。

## 9. 閉会の挨拶

司会進行の吉村事務局長よりこれで総会での報告事項が終了したことが案内された。

最後に、佐藤精知夫副会長から閉会の挨拶があり、散会した。

佐藤副会長 挨拶

皆様のご協力で無事終了出来ましたことお礼申し上げます。

今回は遠い九州地方からも、寒いところからも大勢出席頂き有難うございます。

今日は昔のように意見交換会の後で懇親会を開催するので、いろんな意見を出して頂きたい。それぞれの悩み、少子化の問題の影響もあるでしょう。一般的にスポーツ離れが起きているので、大会が盛会だった頃のことばかり考えずに、一番落ち込んだ時のことを考えてこれから上って行く為に、一緒に元気を出して頑張って行きましょう。

明日は、宮古ジュニアヨットクラブの橋本さんの講演も予定されていますが、きっと参考になると思います。

今後も皆さんと手を携えて行きたいのでご協力をお願いします。

本日は有難うございました。

(14時45分に終了する。)

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成22年2月19日

議長

東京都杉並区本天沼3-23-2

佐藤 精知夫 (印)

議事録署名人

熊本県菊池郡菊陽町津久礼2268-125

山川 満清 (印)

(熊本ジュニアヨットクラブ代表)

議事録署名人

(住所)

芦垣 明彦 (印)

(かながわジュニアヨット倶楽部ワンダラーズ代表)